

京都のINGをCHECK IT OUT!!

ロコミ情報カタログ

巨乳をもてあます
老翁たちが
辛いのに
何のそん
ように!



法観寺八坂の塔南側の石像を東へ進むと、二年坂に到達するまでに現れる不可思議な面影。玄關奥にも多数の石像の存在を確認



掛札によると、蔵の修理に300万円が入用なのだそう。観光客らの被写体となったモデル代で修繕費がまかえるのかどうか...

日本一を自負するならば ロマンチストも甘くない!?

「22才の別れ」「泣くの笑うの死んじやうの?」、何これ?ってパフェの名前。中身や味との関連が有るのか否か、他にもオーナー好みの映画や懐メロ、甘〜い口説き文句やキッチュな決め台詞から命名されたパフェがどっさり。その数、150種類以上! 求人要項には「共にパフェの技術を磨き、メニューの中身と値段を全て覚えらるる人」との文言が。「パフェの技術を磨く…」う〜ん甘いけど深いのね。その姿勢、恐れ入りました。きっと日本一です

旨いもん



只今、オリジナルパフェを公募中。自分でプロデュースしたパフェが永久にメニューに載っちゃうかも? 発表はXmasだとか、急げ〜

ポボロヒロバ
京都市伏見区深草飯食町839-4
075-642-6666
1100〜2400/無休

加賀オーナーとスタッフの皆さん。現在のメニューはフードも合わせ約700種類。増え続ける品数を日々こなす強者達



今日の
オレが
甘かった

京都でも指折りの情緒たっぷりエリア・八坂の塔界隈で、妙な視線、ていうかまがまがしさを感してブイッと横を向いたら、文言絶句、茫然自失に陥ること約13秒。云々画廊を名乗る蔵屋敷の軒下に、ムクの「叫び」みたいな苦渋の形相で、巨乳を寄せては上げをしている石像数体。画廊は閉まり作者の素姓は謎だが、「カメラは支援金」の注意書きに促され、閃絶寸前の彼らの口中に100円を供えて撮影。取るものもとりあえず、坂を駆け下りたのである。

映画的 映画の 味

イラストと文
ハヤシチサコ



地下鉄のザシエ
ZAZIE DANS LE METRO
監督/ルイ・マル
主演/カトリーヌ・ドモンジョ
フィリップ・ノワレ

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともあり、編集部員の熱望により本誌への登場と相成った。

竜馬通り商店街編 vol.6

幕末維新回廊で試みる
龍馬さまを辿る歩き方

商店街 そぞろ歩き



酒造りに使われる名水を専用のろ過装置で6時間かけてコーヒーを抽出し、さらに2日間寝かせる。アイスコーヒー380円



龍馬の出生地・高知県で親しまれる鱈の姿寿司を京風にアレンジした「龍馬寿司」は1本2000円



店の奥から天保3年を記述した板が見つかったという、かなりの老舗。手作りの茶団子、抹茶くず湯などおいしい茶店も併設



主に途大根と呼ばれる伏見特産の大根を用いて、ぬか漬けにする「龍馬漬け」およそ1/2本で230円、およそ1/2本で400円



龍馬ポスター、龍馬マスコットをはじめ、幕末の志士グッズがここで調達できる上、幕末ファンに嬉しい情報も集まる

伏見の大手筋商店街を縦断する納屋町道を南下すると、軒先を町家風に統一した「竜馬通り商店街」が始まる。寺田屋も近い。「龍馬は維新の志を抱いてこの道を歩いたのね」と胸を高鳴らせて訪れる幕末維新ファンは数多。とはいえ歴史ロマンに疎い人でも楽しめるから大丈夫。例えば、「龍馬を探せ!」とタイトルを付けて「りょうまちゃん」マネキン、向かいの「安本茶舗」でちよつと茶団子を買い求めて先を進めば、寿司・割烹の「かき仙」で「龍馬寿司」を獲得。伏見の水で抽出する水出しコーヒーの「珈琲房きた家」では高知の海洋深層水を備え、故郷繋がりでもたまも龍馬。ポイント倍増を睨んで入った「龍馬館」は、街の基地的存在で期待通りの宝庫。「田中青果店」には「龍馬漬け」なる大根の漬物まで。ポイント集計できないほどの龍馬数に歓喜する前に、熱く龍馬を慕うこの街の平成商店街維新を讃えたい。